

有限会社辻重機興業 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日：2025年11月21日

株式会社北洋銀行
花川北支店

1. 基本情報

企 業 名	有限会社辻重機興業	
代 表 者 名	辻 英明	
所 在 地	北海道石狩市花川北 2 条 6 丁目 150 番地	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	15名（2025年10月現在）	
業 種	土木工事業・除雪業	
事 業 内 容	土木工事 除雪作業	
沿 革	1988年11月 2013年10月	当社設立 本社を札幌市豊平区から石狩市に移転

2. 経営方針

経営方針

- ・従業員の健康・安全を第一に
- ・チームワークを駆使し、仕事の質、スピードにこだわる
- ・いい仕事は身の周りの整理から

辻重機興業は、上記の経営方針を掲げ、幅広い土木工事業を営んでいる。当社が経営方針として掲げるチームワークの醸成や安全管理には役職員同士の円滑なコミュニケーションが不可欠と考えており、朝礼・ミーティングによる業務上の意思疎通や交流を重視している。

■ 朝礼・ミーティングの様子



出所：辻重機興業提供資料

3. 事業概要

有限会社辻重機興業は、石狩市に本社を置く土木工事業者で、業歴は37年に及ぶ。当社の強みは、事業の展開領域が広い土木工事業において、造成工事や河川工事、水道管工事などをはじめとし、幅広い分野で受注可能な施工技術力の高さにある。ベテランの職人からの若手社員への教育、技術継承にも力を入れており、当社の高い施工技術力は、着実に次世代に引き継がれている。また、徹底したスケジュール管理に基づいた従業員の健康、安全への配慮や、休暇取得の促進にも力を入れており、土木建設業の「3K(きつい・汚い・危険)」を払拭した働きやすい職場環境をつくりだすことに努めている。整備された社内体制、それに裏打ちされた高い技術力により、内外から高い信頼を得ている。

■ 現場施工例①:道路造成工事

道路造成工事は、道路として利用できる状態にするために長距離に渡って土地を均し、適切な勾配や排水設備を整える工事。土地の整形、切土・盛土、地盤整備、排水設備の設置、舗装などが含まれる。正確、丁寧な施工によって道路のひび割れやゆがみを抑え、完成後の道路の耐久性を高めている。

【切土・盛土】

重機を用いて、傾斜のある土地を均一にする作業。熟練の重機オペレーターによって丁寧な仕上げが行われる。



出所：辻重機興業提供資料

【舗装】

敷き詰めた砂利をロードローラーで締め固める作業。道路の耐久性に直結するため、均一な仕上がりを徹底する。



出所：辻重機興業提供資料

■ 現場施工例②:産業廃棄物最終処分場での造成工事

産業廃棄物最終処分場の建設にかかる工事も受注しており、最終処分場建設地となるエリアの造成工事を担当している。リサイクル利用が困難な産業廃棄物には、燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類など様々な種類があり、最終処分場では、環境面、安全面に配慮しながら埋め立てが行われている。そのような背景から、産業廃棄物処理業者、および関係する各事業者においても、環境への配慮、ならびにSDGsへの取組についての関心が高まっている。当社の元請先である産業廃棄物処理業者でも、処分場へ社会科見学に訪れる小学生を対象とした独自のSDGs教育を行うなど、SDGsへの取組が加速している。当社としても、従業員の待遇向上や、働きやすい環境づくり、環境に配慮した車両の導入などを含め、SGDsへの総合的な取組を通じた企業価値の向上を目指している。



▲ 最終処分場建設エリアの造成工事の様子。掘削作業をしつつ、発生した山ずり(岩石や土砂)を運搬している。

出所：辻重機興業提供資料

4. サステナビリティ目標

有限会社辻重機興業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、有限会社辻重機興の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画（2024）」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社辻重機興業のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。